

## 2010 年度・研究旅行奨励制度【個人旅行】

|     |      |         |            |
|-----|------|---------|------------|
| 名 前 | 大賀章代 | 研究テーマ   | 飛鳥・奈良の宮と寺院 |
| 目的地 | 国 名  | 地域・都市名  |            |
|     | 日 本  | 奈良県・大阪府 |            |

### 研究旅行の目的

今年、遷都 1300 年を迎える平城京と周辺寺院の建築、文化、歴史を学び、律令国家への道を歩み始めた日本の姿をとらえる。また、飛鳥・藤原の宮都と寺院を巡り、建築の変遷について、法隆寺と周辺寺院を巡り、唐の影響を強く受ける仏教建造物について理解を深める。

### 期待される成果

当時の日本人が、全ての面において時代の先を行く唐から何を見、感じ、それを持ち帰って日本をどう変えていったのか理解でき、またそれにかかる情熱、雅な生活の様子にも触れることができる。それぞれの宮都の構造、寺院の伽藍配置の違い、中国大陸・朝鮮半島との類似点・相違点について知ることができる。当時の日本における仏教の位置、影響力を発見できる。また、奈良の歴史的遺産を守り、伝えていく思いを知り、考えを深めることができる。

### 旅行日程表

旅行期間： 2010 年 9 月 6 日～ 9 月 12 日 [7 日間]

|                    |   |
|--------------------|---|
| 第 1 日目<br>9 月 6 日  | 平城宮跡（朱雀門、第一次朝堂院・大極殿・前殿、第二次朝堂院・大極殿・内裏、宮内省、東院庭園、天平衣装・木簡作成・疑似発掘体験、遺構展示館、現在の発掘現場）   |
| 第 2 日目<br>9 月 7 日  | 薬師寺（白鳳伽藍、玄奘三蔵院伽藍）、唐招提寺（新宝蔵、鑑真和上御廟）、平城宮跡（歴史館・遣唐使船復元、資料館）、興福寺（東金堂、国宝館）、奈良国立博物館（仏教修理 100 年展、至宝の仏像展）、元興寺（極楽坊、塔跡）                  |
| 第 3 日目<br>9 月 8 日  | 東大寺（南大門、大仏殿、法華堂、二月堂、戒壇院、転害門、正倉院）、春日大社（萬葉植物園、宝物殿、本殿）、新薬師寺、法隆寺（西院伽藍、大宝蔵院、東院伽藍）、中宮寺  |
| 第 4 日目<br>9 月 9 日  | 橿原考古学研究所博物館、本薬師寺跡、藤原宮跡（資料室、奈良文化財研究所発掘調査部資料室）、国立飛鳥資料館、山田寺跡、大官大寺跡、奥山久米寺跡、石神遺跡、水落遺跡、飛鳥寺、酒船石遺跡、亀形石造物、県立万葉文化館、明日香民族資料館、豊浦寺跡、伝小墾田宮跡 |
| 第 5 日目<br>9 月 10 日 | 真弓鐘子塚古墳、乾城古墳、新沢千塚古墳、岩屋山古墳、欽明天皇陵、吉備姫王墓、猿石、鬼の俎・雪隠、亀石、橘寺、川原寺跡、伝飛鳥板蓋宮跡、岡寺、石舞台古墳、高松塚古墳（壁画館）  |

|               |                              |
|---------------|------------------------------|
| 第6日目<br>9月11日 | 牽牛子塚古墳現地見学会、天武・持統天皇陵、法輪寺、法起寺 |
| 第7日目<br>9月12日 | 大阪歴史博物館、NHK大阪放送局難波宮遺跡探訪、難波宮跡 |

### 【報告書・要旨】

以前、大学の授業で、飛鳥時代、誕生期には正方位ではなかった宮が正方位となり、祭祀施設や区分された内裏が、より私的・公的の二つに変化しながら変遷していく過程について学んだ。今回、自分の足でその地を訪れることで、教室で学んでいた時よりもさらに現実的に、その変遷を想像できるようになった。また、石敷や石造物を目の当たりにして、飛鳥を石の都としても捉えることができ、その工事に伴う国力と技術的水準の高さに驚いた。鑄造や漏刻技術も先進的だった。難波宮で本格的宮殿となり、藤原宮で初めて瓦が葺かれ、平城宮で大成される一連の壮大な流れに中国の建築・政治制度・思想の影響は切っても切り離せないものであること、そして、その偉大さを改めて感じた。

寺院は6世紀末～7世紀初頭にかけて飛鳥寺・四天王寺式、7世紀中頃～後半にかけて川原寺・法隆寺式、7世紀末～は本薬師寺・大官大寺式と大きく分けられ、平城遷都にともなって飛鳥時代のものが奈良時代に移築されたことが理解できた。それ以外のものは、奈良期に新たな国力で作られていた。仏像はインドー中国からの影響を強く受けており、飛鳥時代のものと奈良時代のものでは、その交流の深さの違いからか、奈良になってようやく体系が整ってきたように感じた。寺院関連の知識が浅いうえに、瓦や釘、鴟尾については知識が全くなかったために、十分に理解できなかった部分があり残念であった。これからさらに学びながら、理解を深めて行きたいと思う。



滞在中、偶然に訪れることができた牽牛子塚古墳（奈良県明日香村）

八角形墳の歴史的発掘のニュース。2200人の考古学ファンが詰めかけた現地見学会にて。



炎天下の中観光客で賑わう大極殿  
2010年、遷都1300年を迎えた平城京

**【研究旅行報告書】** 国際文化学科室で閲覧可能です。